



可とう形 外装薄塗材
フレクシイ

【施工要領書 吹付施工編】

【フレクシイは湿式材料です】

- ・粉体と混液と水を混練し、定められた仕上げ方法に沿って職人さんが技や知識を駆使して丁寧に仕上げます。
- ・フレクシイ施工前には必ず、お施主様や設計士様の立会いの下、試し塗りをを行い仕上がりを確認してから実施工を行って下さい。
(見本で提出した決定サンプル板との比較)
- ・フレクシイは職人さんが現地で材料を、吹付け、仕上げを行います。
タイルや化粧パネルのように最初から定まった形が無い為、表面の砂目の出方など表情は均一にはなりません。また、見本で提出した決定サンプル板と全く同一の色調、仕上がりにならない部分もありますのでご了承下さい。
- ・フレクシイは施工する季節や施工中の天候の変化等により、明らかな施工ミスが無くても施工した部位毎に色調が微妙に異なるようなこともあります、品質にバラつきがある訳ではなく、湿式材料の性質としてご理解下さい。



二瀬窯業株式会社

〒820-0044 福岡県飯塚市横田 669

本社・工場 : 0948-22-0447 名古屋営業所 : 052-509-2485

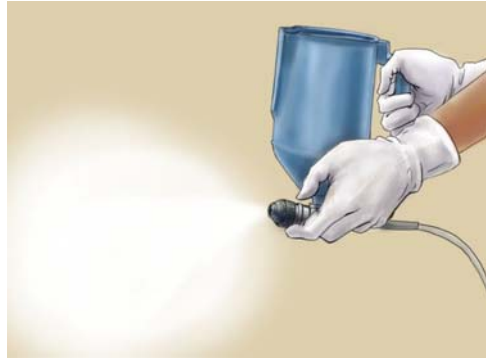
関東工場 : 0438-30-7372 大阪営業所 : 06-6583-3310

東京営業所 : 03-6453-6685 福岡営業所 : 0948-22-0447

下地処理について

フレクシイ シーラーの塗装

中毛ローラー、エアレスユニット、スプレーガン、刷毛を使用し、 $0.06\sim 0.08/m^2$ の割合で均一に塗布します。塗付後2時間以上(20℃、65%RH)乾燥させます。



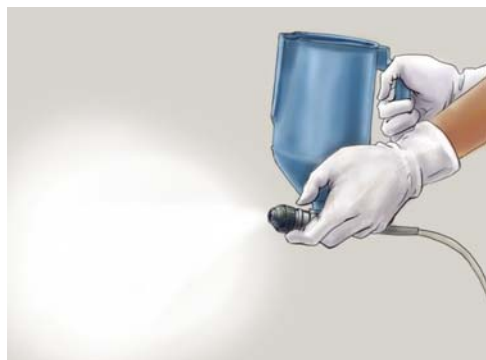
1. 下吹き

1) 吹付けはリシンガン(口径3~4mm)を使用し、
約 $0.9\text{ kg}/m^2$ (22 m^2 /セット) 厚み0.7mm程度の割合で均一に吹付けます。

この時、材料の飛散が良くなるように、また吹付面にクレーター模様が発生しないように空気ノズルとチップの距離を調整し吹付します。

※塗装後2時間以上(温度20℃、湿度65%RH)乾燥させます。

但し、化粧目地等作成などで、テープを貼る場合は、16時間以上乾燥させます。



2. 上吹き

1) 下吹き同様の方法で、吹きムラが発生しないように均一に吹付けます。

リシンガン(口径3~4mm)を使用し、
約 $0.9\text{ kg}/m^2$ (20 m^2 /セット) の割合で均一に吹付けます。

上吹き後、5分以内にパターンを形成します。



3. 模様出し

1) 金コテを使用し、塗り拡げます。仕上りとしては、ある程度のコテ波を残します。(塗り放し)。



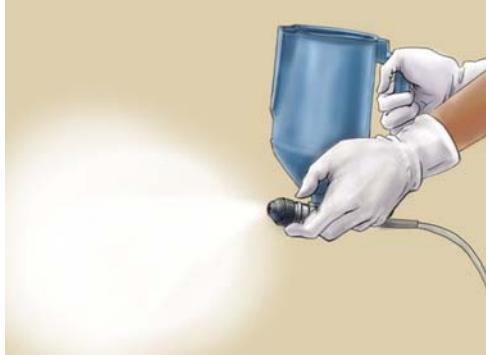
仕上がり

※仕上塗り後、24時間以上雨に当たらないよう乾燥養生して下さい。

下地処理について

フレクシイシーラーの塗装

中毛ローラー、エアレスユニット、スプレーガン、刷毛を使用し、 $0.06\sim 0.08/m^2$ の割合で均一に塗布します。塗付後2時間以上(20℃、65%RH)乾燥させます。



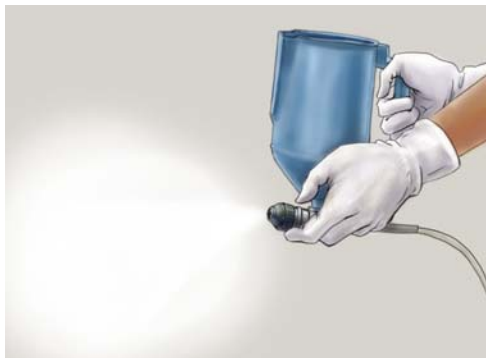
1. 下吹き

1) 吹付けはリシンガン(口径3~4mm)を使用し、
約 $0.9\text{ kg}/m^2$ (22 m^2 /セット) 厚み0.7mm
程度の割合で均一に吹付けます。

この時、材料の飛散が良くなるように、また吹付面にクレーター模様が発生しないように空気ノズルとチップの距離を調整し吹付します。

※塗装後2時間以上(温度20℃、湿度65%RH)乾燥させます。

但し、化粧目地等作成などで、テープを貼る場合は、16時間以上乾燥させます。



2. 上吹き

1) 下吹き同様の方法で、吹きムラが発生しないように均一に吹付けます。

リシンガン(口径3~4mm)を使用し、
約 $0.9\text{ kg}/m^2$ (20 m^2 /セット)の割合で均一に吹付けます。

上吹き後、5分以内にパターンを形成します。



模様出し

木鏝を用いて材料を配り塗り後、水平に引きずるようにし、ランダムにこてすじ模様を付けます。



仕上がり

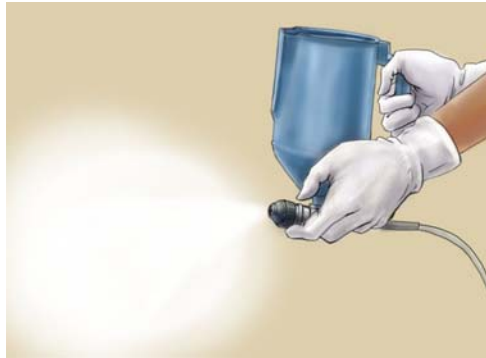
※仕上塗り後、24時間以上雨に当たらないよう乾燥養生して下さい。

可とう形 外装薄塗材 フレクシイ サンディ10(吹付) 施工手順

下地処理について

フレクシイシーラーの塗装

中毛ローラー、エアレスユニット、スプレーガン、刷毛を使用し、 $0.06\sim 0.08/m^2$ の割合で均一に塗布します。塗付後2時間以上(20℃、65%RH)乾燥させます。



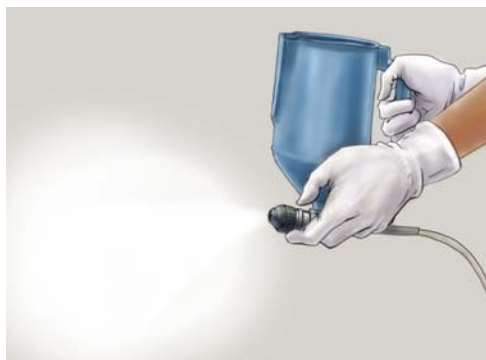
1. 下吹き

1) 吹付けはリシンガン(口径3~4mm)を使用し、
約 $0.9\text{ kg}/m^2$ (22 m^2 /セット) 厚み0.7mm
程度の割合で均一に吹付けます。

この時、材料の飛散が良くなるように、また吹付面にクレーター模様が発生しないように空気ノズルとチップの距離を調整し吹付します。

※塗装後2時間以上(温度20℃、湿度65%RH)乾燥させます。

但し、化粧目地等作成などで、テープを貼る場合は、16時間以上乾燥させます。



2. 上吹き

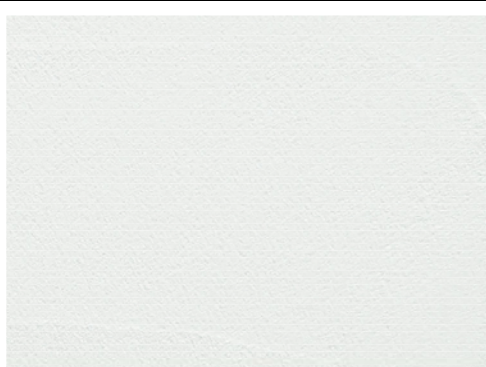
1) リシンガン(口径5mm)を使用し、
約 $1.5\text{ kg}/m^2$ (22 m^2 /セット)の割合で均一に吹付けます。

また、施工面が広い場合には、見切りの良い部位まで吹付します。上吹き後、5分以内にパターンを形成します。



模様出し

3) 金コテを使用し、塗り広げます。仕上がりは、ある程度コテ波を残します。(塗り放し)



仕上がり

※仕上塗り後、24時間以上雨に当たらないよう乾燥養生して下さい。

可とう形 外装薄塗材 フレクシイ サンディ 25(吹付) 施工手順

下地処理について

フレクシイシーラーの塗装

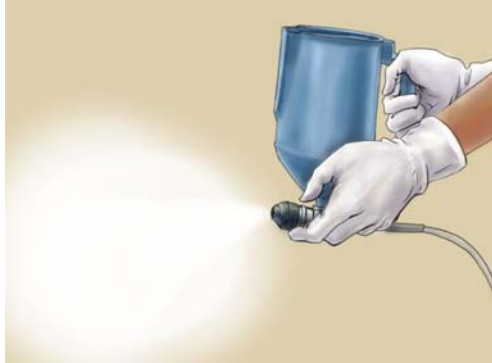
中毛ローラー、エアレスユニット、スプレーガン、刷毛を使用し、 $0.06\sim 0.08/m^2$ の割合で均一に塗布します。塗付後2時間以上(20℃、65%RH)乾燥させます。

	<p>1. 下吹き</p> <p>1) 吹付けはリシガン(口径3~4mm)を使用し、 約$0.9\text{ kg}/m^2$ ($22\text{ m}^2/\text{セット}$) 厚み0.7 mm 程度の割合で均一に吹付けます。</p> <p>この時、材料の飛散が良くなるように、また吹付面にクレーター模様が発生しないように空気ノズルとチップの距離を調整し吹付します。</p> <p>※塗装後2時間以上(温度20℃、湿度65%RH)乾燥させます。但し、化粧目地等作成などで、テープを貼る場合は、16時間以上乾燥させます。</p>
	<p>2. 上吹き</p> <p>1) スタッコガン(口径8mm)を使用し、 $2.9\text{ kg}/m^2$ ($14\text{ m}^2/\text{セット}$) の割合で均一に吹付けます。</p> <p>また、施工面が広い場合には、見切りの良い部位まで吹付します。上吹き後、5分以内にパターンを形成します。</p>
	<p>模様出し</p> <p>3) 金コテを使用し、塗り伸ばします。仕上がりは、ある程度コテ波を残します。(塗り放し)</p>
	<p>仕上がり</p> <p>※仕上塗り後、24時間以上雨に当たらないよう乾燥養生して下さい。</p>

下地処理について

フレクシイシーラーの塗装

中毛ローラー、エアレスユニット、スプレーガン、刷毛を使用し、 $0.06\sim 0.08/m^2$ の割合で均一に塗布します。塗付後2時間以上(20℃、65%RH)乾燥させます。



1. 下吹き

1) 吹付けはリシガン(口径3~4mm)を使用し、**約 $0.9\text{ kg}/m^2$ ($22\text{ m}^2/\text{セット}$) 厚み 0.7 mm 程度の割合で均一に吹付けます。**

この時、材料の飛散が良くなるように、また吹付面にクレーター模様が発生しないように空気ノズルとチップの距離を調整し吹付します。

※塗装後2時間以上(温度20℃、湿度65%RH)乾燥させます。

但し、化粧目地等作成などで、テープを貼る場合は、16時間以上乾燥させます。



2. 上吹き

1) スタッコガン(口径8mm~12mm)を使用し、 **$3.5\text{ kg}/m^2$ ($14\text{ m}^2/\text{セット}$)の割合でスタッコ小模様状に吹付けます。**

また、施工面が広い場合には、見切りの良い部位まで吹付します。

上吹き後、5分以内に模様出しします。



2) 模様出し

木鏝で円を描くように大きな骨材を転がしながら模様を付けます。表面皮張りが始まりますと模様出しができませんので、配り塗り後、速やかに模様付けを行って下さい。



仕上がり

※仕上塗り後、24時間以上雨に当たらないよう乾燥養生して下さい。

下地処理について

フレクシィシーラーの塗装

中毛ローラー、エアレスユニット、スプレーガン、刷毛を使用し、 $0.06\sim 0.08/m^2$ の割合で均一に塗布します。塗付後2時間以上(20℃、65%RH)乾燥させます。



1. 下吹き

1) 吹付けはリシンガン(口径3mm)を使用し、
約 $0.9\text{ kg}/m^2$ ($22\text{ m}^2/\text{セット}$) 厚み 0.7 mm
程度の割合で均一に吹付けます。

この時、材料の飛散が良くなるように、また吹付面にクレーター模様が発生しないように空気ノズルとチップの距離を調整し吹付します。

※塗装後2時間以上(温度20℃、湿度65%RH)乾燥させます。

但し、化粧目地等作成などで、テープを貼る場合は16時間以上乾燥させます。



2. 上吹き

1) スタッコガン(口径8mm~12mm)を使用し、
 $3.3\text{ kg}/m^2$ ($12\text{ m}^2/\text{セット}$) の割合で
スタッコ小模様状に吹付けます。

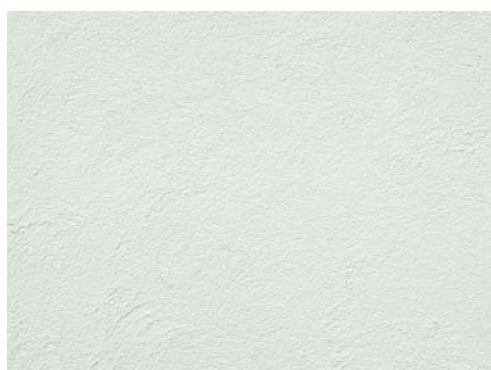
また、施工面が広い場合には、見切りの良い部位まで吹付します。

上吹き後、5分以内に模様出しします。



2) 模様出し

スタッコ小模様を8の字を描くように、木鏝でつぶします。平滑になりすぎないようにコテムラを残した状態でラフに仕上げます。



仕上がり

※仕上塗り後、24時間以上雨に当たらないよう乾燥養生して下さい。

下地処理について

フレクシイシーラーの塗装

中毛ローラー、エアレスユニット、スプレーガン、刷毛を使用し、 $0.06\sim 0.08/m^2$ の割合で均一に塗布します。塗付後2時間以上(20℃、65%RH)乾燥させます。



1. 下吹き

1) 吹付けはリシンガン(口径3~4mm)を使用し、**約 $0.9\text{ kg}/m^2$ ($22\text{ m}^2/\text{セット}$) 厚み 0.7 mm** 程度の割合で均一に吹付けます。

この時、材料の飛散が良くなるように、また吹付面にクレーター模様が発生しないように空気ノズルとチップの距離を調整し吹付します。

※塗装後2時間以上(温度20℃、湿度65%RH)乾燥させます。

但し、化粧目地等作成などで、テープを貼る場合は16時間以上乾燥させます。



2. 上吹き

1) スタッコガン(口径8mm~12mm)を使用し、 **$3.3\text{ kg}/m^2$ ($12\text{ m}^2/\text{セット}$)**の割合でスタッコ小模様状に吹付けます。

また、施工面が広い場合には、見切りの良い部位まで吹付します。

上吹き後、5分以内に模様出します。



模様出し

2) 専用くし目ゴテ(ぎざぎざくん)を使用し、横に引きずります。その際、コテを塗付面に対して45度程度ねかせますと、よりくっきりとした仕上がりになります。

尚、くし目を引く際、材料がくし目にたまってきます。そのまま使用し続けると、模様が崩れますので、適宜こて板等を用いて取り除いて下さい。



仕上がり

※仕上塗り後、24時間以上雨に当たらないよう乾燥養生して下さい。

施工上の注意事項

1. 気温5℃以下、湿度85%以上、または降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。
作業終了後に、降雨、降雪の恐れがある場合は雨養生をして下さい。尚、夜間の気温が氷点下になる恐れがある場合は、午後3時ころまでに作業を切り上げるようにして下さい。
2. 常に結露が発生する地域、時期での施工は避けて下さい。
3. 材料の保管は気温5~35℃で、直射日光を避け貯蔵して下さい。
4. 施工前に模様を確認し、コンパネなどで試し塗りを行い、仕上がりを確認して下さい。
5. 同一面を施工する場合、その日のうちに施工するようにして下さい。
6. **模様の塗継は上下左右ともランダムな位置で行うようにし、できるだけ揃えないようにして下さい。特に、足場継する場合は、模様が足場の上下にランダムになるようにします。**
7. 高温、強風などの条件では表面乾燥が特に早く、模様付が難しくなることがあります。配り塗りと模様付けの二人一組のコンビで、配り塗り後ただちに模様付けができるようにして下さい。
8. 出隅部における模様付けは、出隅部を巻くように模様付けして下さい。模様を切る位置はランダムにし、同じ位置にならないようにして下さい。
9. 入隅部は、入隅部分から外に向かって模様付けして下さい
10. 気温が5℃以下になりそうな時は原則として施工を行わないで下さい。

(その他注意事項)

1. 笠木、換気口などにつきましては、水切り設計とすることを推奨します。平面部に堆積した汚染物質が雨などにより流れだし、壁面に伝わると汚染する結果となります。
2. 直射日光、水濡れ、高温(40℃以上)または低温(0℃以下)での材料の保管は避けて下さい。